

にている ことばを 読みわけよう (ローマ字)

ちがいは 1か所。^・子音2つ・y・' を よく見よう

なまえ _____

ひづけ _____

きまり ちがいは この 4つ (1か所で べつの ことばに なる)

のばす音 ^ tori (とり) / tôri (とおり)
つまる音 (子音が 2つ) oto (おと) / otto (おっと)
小さい やゆよ (y) hiyaku (ひやく) / hyaku (ひゃく)
はねる音のあとに a i u e o y がくるとき「'」をつける
hon'ya (ほんや) … 「'」がないと honya = ほにや と読めてしまう

A ローマ字に 合う ことばは どっち? 記号に ○をつけよう

(1) **tôru**

ア とる

イ とおる

(2) **kuro**

ア くろ

イ くらう

(3) **sakka**

ア さか

イ さつか

(4) **kita**

ア きた

イ きった

(5) **hatta**

ア はた

イ はった

(6) **kiyô**

ア きよう

イ きよう

B 2つとも ローマ字で 書いて、ちがう 所を ○で かこもう

(7) また

まった

(8) ふた

ふった

(9) りよう

りよう



にている ことばを 読みわけよう (ローマ字) 【こたえ】 なまえ _____

ちがいは 1か所。^・子音2つ・y・' を よく見よう ひづけ _____

まるつけの めやす (おうちの方へ)

- ・A は 記号に ○ (ことばを かこんで いても よい)
- ・B の のばす音は ^ が いる (ā の 横ぼうは よい。母音を 重ねるのは この 紙では ×)
- ・(9) は ヘボン式の riyô も よい
- ・ちがう 所の ○は、2つの ことばの どちらかに ついて いれば よい

A ローマ字に 合う ことばは どちら? 記号に ○を つけよう

(1) tôru

ア とる

イ とおる

(2) kuro

ア くろ

イ くろう

(3) sakka

ア さか

イ さつか

(4) kita

ア きた

イ きたた

(5) hatta

ア はた

イ はった

(6) kiyô

ア きよう

イ きよう

B 2つとも ローマ字で 書いて、ちがう 所を ○で かこもう

(7) また

mata

まった

matta

(8) ふた

huta

ふった

hutta

(9) りよう

ryô

りよう

riyô